

AGU

Environmental Safety Management Center
Activity Report 2018

環境安全センターの活動報告



AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

ご挨拶

環境安全センターも設立から3年目の活動を精力的に進め、学内や近隣の環境安全に努めております。この度は2018年度の年間報告をまとめることができました。センター関係者の発案などをもとにした色々な活動が盛り込まれております。活動内容をご覧になり、本センター活動にさらにご理解頂ければ幸いです。

環境安全センター 所長 副学長 橋本 修

環境安全センターの成り立ち・体制

相模原キャンパスでは、実験などの教育研究活動に、環境や人体に影響を及ぼす化学物質を使用します。これら物質を取り扱う際の法令や規制が年々厳格化の方向に改定されています。本学でも一般企業と同様に法令や規制を遵守しつつ、安全かつ円滑に教育研究活動を行えるよう、組織的に高度な環境安全に関する施策・教育・サポートを行うための組織として、2017年4月に相模原キャンパスに環境安全センターを開設しました。

環境安全センター運営委員会

環境安全センター

センター所長

センター副所長

【常勤スタッフ】

センター助手（2名）

専任職員（1名）

環境安全センターの組織体制

環境安全センターの主な活動内容（2018年度）

- 各種講習会の実施
 - ・ 化学物質取り扱い講習会
 - ・ 高圧ガス保安講習会
 - ・ 液体窒素液取り実地講習会
- 各種環境測定の実施
 - ・ 敷地境界線における騒音測定
 - ・ 排ガス処理装置の排ガス測定 等
- 各種法令に基づく報告書・届出書等の作成
 - ・ PRTR 法
 - ・ アルコール事業法
 - ・ 神奈川県生活環境の保全等に関する条例 等
- 実験廃棄物の適正処理とその指導
- 実験排水の適正処理とその指導
- 学生教職員向け安全マニュアルの作成
- 日常的な学生への安全指導
- 外部団体主催の研修研究会への参加
 - ・ 大学等環境保全協議会・私立大学環境保全協議会
 - ・ 神奈川県環境保全協議会
 - ・ 神奈川県高圧ガス保安協会 等
- 安全衛生への対応
 - ・ 実験室内の作業環境測定の実施
 - ・ 安全衛生ピクトサインの作成



〈2018年度のトピックス〉

神奈川県環境保全協議会より「環境保全表彰」受賞

公益社団法人神奈川県環境保全協議会は、工場・事業所における公害の防止や廃棄物の適正な処理に関する知識と技術の普及を図り公害の未然防止と地域における環境の保全に寄与することを目的に、1978年に神奈川県の指導のもとに設立した公益法人です。本学では2003年度相模原キャンパス開学直後に同協議会に入会し、広く環境保全に関連した情報提供を受けておりましたが、環境安全センター開設後は従来以上に研修会に積極的に参加し、環境に関する法令改正のトレンドの収集や県内企業とのネットワーク構築に役立てています。また、2018年11月には同協議会主催「女性担当者のための環境保全研修会」の会場として、県内の環境保全担当者が多くご来訪下さったとともに、研修会では本学の環境保全・安全衛生について参加企業様に紹介する機会を頂きました。今回、これら本学の環境保全への取り組みが認められ、同協議会会長が功績を称えて表彰を行う「環境保全表彰」を受賞しました。



表彰を受ける環境安全センター副所長武内教授（右）

安全衛生ピクトサイン作成

ピクトサイン（或いはピクトグラム）は一般に「絵文字」「絵単語」と呼ばれています。文字で表現する代わりに視覚的な図で表現し、言語関係なく情報の伝達を行うツールです。事前の知識がなくても見れば何となく分かるところが特徴です。日常生活でもよく見受けられます。因みに、今のようなピクトサインは1964年の東京オリンピックが始まりと言われています。

本センターでもこのピクトサインを活用しています。実験室には装置、化学物質、高圧ガスなど様々な物が置かれています。これらを21種類に分類し、ピクトサインを実験室入口ドアに貼ることで、視覚的に何があるかを把握することが出来ます。実験室で異常事態が起こった場合にでも、実験室に入ることなく、状況を把握出来るメリットもあります。



ピクトサイン例



ピクトサイン掲示
(実験室入口)

〈 環境保全・安全衛生の取り組み 〉

測定

環境安全センターでは、関係法令に基づいた各種測定を実施することにより、安全な教育環境の提供および生活環境の保全に努めています。測定の結果は、本センター運営委員会や安全衛生委員会に報告し、また、近隣自治会との懇談にも提示しています。

その他、学内で必要となる測定にも対応しています。

環境安全センターで実施の測定

《安全・衛生関連》

- ・実験室内の作業環境測定（2回/年）
- ・教室内のVOC測定（1回/年）

《環境保全関連》

- ・敷地境界線における騒音測定（2回/年）
- ・排ガス処理装置出口における排ガス測定（1回/年）
- ・実験排水水質測定（1回/月）

※ 2018年度は、相模原市による抜き打ち水質検査が3回実施されましたが、異常は認められませんでした。



教室内のVOC測定の様子



屋上に設置の排ガス処理装置出口における排ガス測定の様子

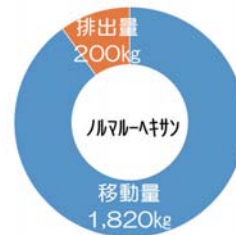
※ VOCとは、常温で蒸発・気化する有機化合物の総称。シックハウス症候群の原因物質と言われています。

薬品・高圧ガス管理

相模原キャンパスでは、専用のネットワークシステムにより、薬品・高圧ガスを管理しています。各研究室の端末で、購入から使い終わるまでの情報をシステムに入力し、入力された情報は、システムの管理者である環境安全センターでいつでも確認できるようになっています。

行政への報告や届出は、このシステムに記録された情報に基づき行っています。一例として、PRTR法については、2018年度はノルマル・ヘキサンが該当し届出を行いました。

【2018年度】PRTR届出内容

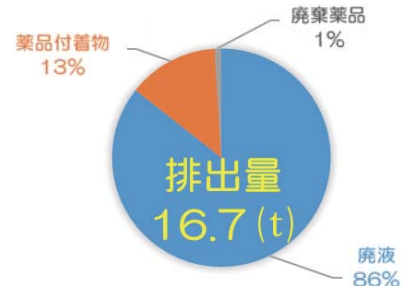


※ PRTR法とは、人や環境に有害な物質を規定量以上取り扱った事業所が、環境中へ排出した量（排出量）と廃棄物として事業所外へ移動した量（移動量）を国に届けることにより、有害な物質の排出状況を把握する仕組み。集計結果は、インターネットで誰でも簡単に閲覧できます。

実験系廃棄物

相模原キャンパスで発生する実験系廃棄物（廃液・薬品付着物・廃棄薬品）は、廃棄物処理法に従い適正に処理しています。環境安全センターでは、正しく分類・回収するために、本学独自の分類フローを策定し、学生・教職員に指導しています。また、分類・回収後の運搬～処分については、許可を受けた専門業者に委託し適正に行っています。

【2018年度】実験系廃棄物排出状況



発行元・問い合わせ先

青山学院大学附置 環境安全センター

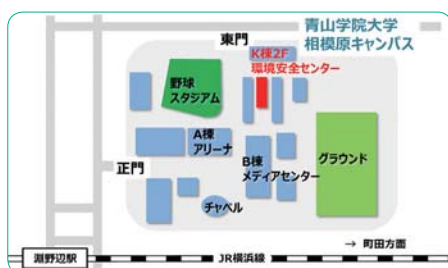
〒252-5258

神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

青山学院大学相模原キャンパス K棟2階 K-202 b

電話番号：042-759-6390 FAX：042-759-6391

E-MAIL：contact@esmc.aoyama.ac.jp



スタッフ所持資格

- ・環境計量士（濃度・騒音振動）
- ・作業環境測定士（一種（有機・特化）、二種）
- ・公害防止管理者（一種（大気・水質））
- ・危険物取扱者（甲種）
- ・有機溶剤作業主任者
- ・高圧ガス製造保安責任者（甲種化学・乙種機械）
- ・衛生工学衛生管理者
- ・第一種衛生管理者
- ・建築物環境安全衛生管理技術者
- ・エネルギー管理士
- ・臭気判定士
- ・特別管理産業廃棄物管理責任者

スタッフ受講済講習・研修

- ・CE取扱者保安講習
- ・局所排気装置等定期自主検査講習
- ・安全管理者選任時研修
- ・特殊材料ガス保安講習会